

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

入院時の胸部単純 X 線撮影および 12 誘導心電図の臨床的有用性：前向き観察研究

[研究責任者] 長崎医療センター 総合診療科 医師 西浦 壮志

[研究の背景]

入院時には、多くの患者さんに対して胸部単純 X 線撮影検査や 12 誘導心電図検査が行われています。これらの検査は、肺炎や心不全、不整脈などの病気を見つけるために役立つことがあります。一方で、症状や診察所見からは異常が強く疑われない場合にも慣例的に行われていることがあります。

これまでの海外の研究では、入院時に行われる胸部単純 X 線撮影検査や 12 誘導心電図検査が、実際の診断や治療方針の変更に役立つ割合は必ずしも高くない可能性が報告されています。しかし、これらの研究の多くは古い時代の海外データであり、高齢の患者さんや複数の病気を持つ患者さんが増えている現在の日本の医療状況にそのまま当てはまるかは十分には分かっていません。

[研究の目的]

本研究では、総合診療科に入院された患者さんを対象として、入院時に行われた胸部単純 X 線撮影検査や 12 誘導心電図検査が、実際の診療にどの程度役立ったかを前向きに調査します。また、どのような患者さんでこれらの検査が有用となりやすいかを明らかにすることを目的としています。

本研究によって、必要な患者さんには適切に検査を行い、一方で不要な検査を減らすことにつながる可能性が期待されます。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2026 年 7 月 1 日から西暦 2027 年 6 月 30 日の間に長崎医療センター総合診療科で入院治療（検査）を受けた方

●研究期間：倫理審査委員会承認日から西暦 2028 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：なし

カルテ情報：

本研究では、通常診療で記録されたカルテ情報を利用します。

研究のために追加の検査や治療を行うことはありません。

利用する主な情報は以下の通りです。

- 年齢、性別、入院経路などの患者背景
- 既往歴や併存症（心疾患、呼吸器疾患など）
- 入院時の症状や診察所見（発熱、咳、胸痛、呼吸困難、SpO₂、脈拍など）
- 入院時に施行された胸部単純 X 線撮影検査や 12 誘導心電図検査の結果
- 入院後の診断、治療内容、診療経過
- 入院時検査が診療に役立ったかどうかの評価

情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

[個人情報取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

総合診療科 医師 西浦 壮志

電話番号：0957-52-3121（代表）